

市議会12月定例会行政報告

安定した稲作の確立に努力

市議会十二月定例会が招集された十二月七日、畠山市長が行政報告を行いました。その中から主なものをお伝えします。

なお、十二月議会で審議された議案などについては、来年の一月十六日号でお知らせします。

稲作と冷害対策

今年の作況指数は九十の「著しい不良」となり、減収量は四、一八八、減収額は十一億七千万円と推定されます。

七月の異常低温や、その後の



日照不足により、市では九月に冷害対策本部を設置するとともに、隣接市町村に呼びかけて北鹿地域冷害対策本部を設置して、県、国など関係機関に、天災融資法の早期発動等十二項目を陳情してきました。その結果、十一月二十二日に天災融資法及び激甚災害法が発動され、救済措置がとられることになりました。

また、市としては被害農家の納税

時期を一カ月繰り延べしたほか、市民税、国保税の軽減を図るために、市税減免条例案を提案します。

さらに「あきたこまち」の種子購入費の助成や、救農土木工事を実施するほか、冷害要

因の解明と、気象災害を念頭においた全天候型稲作体系の確立を、国・県に要請しながら、安定稲作りに努めてまいります。

大館市郷土品まつり

第九回目の大館市郷土品まつりが、十一月五日から七日まで、市民体育館(商工展)、城西体育館及び農業会館(農産物展)を主会場に開かれました。

今回は特に、地場産品をまず市民に愛用してもらうことが大切であるという観点から、市民のいぶき、それが郷土品をメインテーマに、商工業、農林業、鉱業、その他の物産を展示・公開しました。このことにより、米場者の地場産品に対する認識が深まり、今後その見直しによる需要の拡大と、消費生活の向上が図られると思います。

また協賛協事として行われた市場まつり、婦人会館まつりなどでも特色ある催しがあり活況を呈しました。

これを契機に、郷土品愛用運動を継続的に展開し、地域経済の活性化と産業の振興に結びつけていきたいと思っています。

建設工事関係

- ▽深堀堰頭首工工事について
- ▽大館西道路について
- ▽国道一〇三号南バイパスについて
- ▽小坂インター着手について
- ▽県道大館十和田湖線の国道昇格について
- ▽養護老人ホーム移転改築事業について
- ▽沼館保育所改築事業について
- ▽雪沢中学校屋内運動場改築工事について
- ▽矢立小学校屋内運動場改築工事について
- ▽矢立中学校校舎改築工事について
- ▽十二所地区上水道拡張事業状況について
- ▽医師住宅改築工事について

その他の報告

- ▽第三回まちづくり二十一世紀計画シンポジウムについて
- ▽中小企業機械類設備資金融資あっせん制度について
- ▽工業団地の整備状況について

市長の対話ノート



No.188

確かな手ごたえ

今年最後の対話の機会となりました。

十年間続けてきた「対話ノート」でしたが、いささか反省してみました。「対話」とは何だろう。説も考え方もいろいろありましようが、もっと市民を主人公とした「対話」を求めるべきだったようです。「対話ノート」では親と子、先生と生徒の関係のように、結論があつて、それを説論することになってしまっていたのではないのでしょうか。「対話」の使い方に軽率さがあつたのではないかと思っているところなのです。

ともあれ、この小文章によせていただいた市民の皆さんの確かな手ごたえは、強く感じています。このことを大切に、新しいコラムづくりを新年から出発させたいと思いますので、今後ともどうかよろしく願ひします。

今年もあつたわさか、どうぞよいお年をお迎えください。

畠山 健治郎